

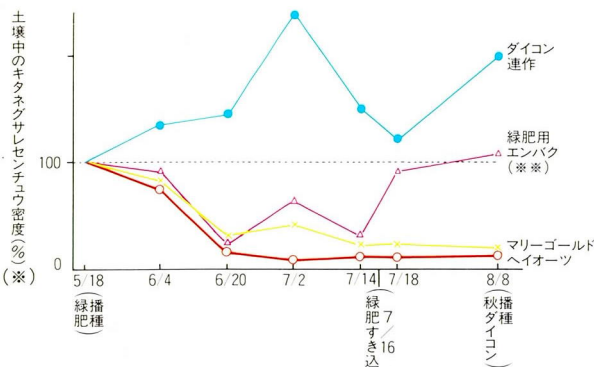
■ 緑肥による土づくりとセンチュウ低減に！

緑肥用 エンバク **ハイオーツ**

ハイオーツはダイコン・ニンジン・ゴボウなどの根物野菜の大敵・キタネグサレセンチュウを低減させることが北海道立中央農試で実証されました。

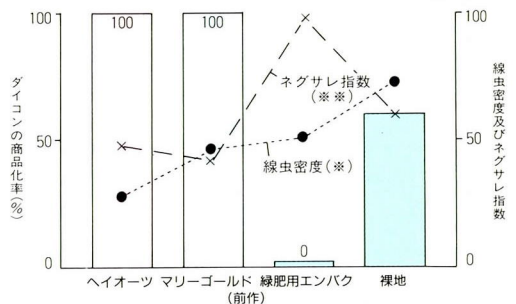
(平成3年、北海道普及奨励)

- ハイオーツはエンバクの野生種で、種子は小さく、普通のエンバクとは異なった特性を持っています。
- 生育が旺盛で、細茎、多葉、多分けつの極多収品種です。
- 乾物収量が多く、有機物を豊富にすき込むことができ、緑肥の効果も大きい。
- 細茎、多葉のため、府県では乾草用としても広く利用されています。
- 播種量…10～15kg (緑肥・センチュウ対策用) (10a) 6～8kg (乾草用)



土壤中のキタネグサレセンチュウ密度の時期別推移 (中央農試、1990)

(※) 播種時の値を100とすると、ハイオーツは線虫密度を低下させるのが分かる。
 (※※) 緑肥用エンバクは6/20～7/14の間、土壤中の線虫密度が減少しているが、実際には根中への寄生量が多く線虫を増殖させる。



春まき緑肥跡地のダイコンの調査結果 (中央農試、1990)

(※) 緑肥播種時(5/18)の線虫密度を100としたときの収穫時(10/16)の値
 (※※) 0:被害なし～100:被害甚
 ハイオーツとマリーゴールドはネグサレ指数が50%以下、商品化率も100%でその実用性が認められました。



雪印種苗株式会社

〒062 札幌市豊平区美園2条1丁目2番1号 ☎(011)831-1161